

別記様式（第 14 条関係）

附属機関等会議録

令和 5 年 2 月 9 日

会 議 の 名 称	令和 4 年度 第 49 回 島田市 諏訪原城跡整備委員会
開 催 日 時	令和 5 年 2 月 9 日 (木曜日) 13 時 45 分から 15 時 30 分まで
開 催 場 所	島田市博物館工作室
会 議 の 議 題	<p>《開会》</p> <p>《観光文化部長あいさつ》</p> <p>《報告事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●お城 EXPO 出展について ●令和 5 年度 諏訪原城跡事業計画について <p>《協議事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●令和 4 年度 大手曲輪堀の基本設計について ●島田市保存活用地域計画について
会議の公開又は全部若しくは一部の非公開の別	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">公開</div> ・ 非公開（ 全部 ・ 一部 ）
会議の全部又は一部の非公開の理由	
公開の場合の傍聴人の数	0 人
出席者の氏名等	<p>整備委員：小和田委員長、三浦副委員長、高瀬委員、加藤委員、佐藤観光文化部長</p> <p>事務局：又平課長、萩原係長、飯塚主任、坂巻学芸員、山寄主事、杉本会計年度任用職員、渡邊技師（建設課）</p> <p>株式会社フジヤマ：中村氏、坂田氏、杉山氏</p>
会 議 の 結 果	<p>《開会》</p> <p>《観光文化部長あいさつ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の諏訪原城跡の整備事業については、クラウドファンディングによる環境整備を実施した。 ・三浦委員による講演会や、諏訪原城応援隊によるイベントを開催し、12 月にはお城 EXPO への出展も行い、沢山の人に諏訪原城を知ってもらえたが、まだ十分とは言えないため、今後も PR 及び整備に力を入れていきたい。 ・今年から家康をテーマとして「どうする家康」が始まっており、また、2023 年は諏訪原城築城 450 周年の年でもあるため、諏訪原城が着目される年となる。 ・令和 5 年度は市の史跡整備事業だけでなく、諏訪原城に関する教育普及活動やイベントなどのソフト面にも力を入れていきたい。 <p>《報告事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●お城 EXPO 出展について ・令和 4 年 12 月 17 日・18 日の二日間、横浜で開催されるお城 EXPO に出展した。4 回目の出展である。

- ・諏訪原城を全国にPRするために出展した。
- ・諏訪原城の公式Instagram及び島田市博物館の公式Instagramのフォロワー数が大幅に増加した。
- ・諏訪原城に来場したことがある人とない人の割合は半々程度だった。
- ・初日はグッズ購入希望者が多く、二日目は展示や解説を楽しむ熱心な客が多かった。
- ・今後の出展内容については、築城450周年を記念したものを計画している。
- ・横浜以外で開催されるお城イベントへの出展も今後検討していく予定である。
- 令和5年度 諏訪原城跡事業計画について
- ・令和4年度に引き続き二の曲輪北馬出付近の園路整備を実施していく。
- ・PR事業については、諏訪原城応援隊イベントの開催や、築城450周年記念シンポジウムの実施、お城EXPOへの出展、牧野城御城印の限定販売を計画している。
- ・学校教育課と連携し、学校への出前事業や社会科見学も受け入れたい。
- ・博物館の企画展として「築城450年記念諏訪原城」を開催する。
- ・JRのさわやかウォークなどを企画する外部団体とも連携していきたい。
- ・地元団体と共同で環境整備等の事業を進めていきたい。
- ・今後の整備を進めるために、諏訪原城の保存活用計画を策定する必要がある。また、そのためには、まず島田市内の全体の文化財保存活用地域計画を策定する必要がある。
- ・史跡整備事業の報告書を作成していく。

(質疑応答)

- ・委員から、諏訪原城の保存活用計画の報告書はいつまでに作成するのかという質問があった。
事務局からは、先に、市全体の文化財保存活用地域計画を策定後、個別の保存活用計画を策定するが、目次に沿った内容で少しずつ資料を作成し検討していきたいと回答した。
- ・委員から、諏訪原城の企画展では、目玉となる展示はあるのかという質問があったため、事務局から、徳川家康や武田勝頼に関連する武将の兜や甲冑を借用する予定であると回答した。それに対し、委員から、「どうする家康」とも関連付けて、うまくマスコミとタイアップして企画を進めて欲しいという要望があった。

《協議事項》

●令和4年度 大手曲輪堀の基本設計について

- ・前回の整備委員会出た意見を受け、大手北外堀の断面の形状を修正した。また、大手南外堀については堀底の広さを修正し、薬研堀に見えるようにした。
- ・前回の委員会で堀の仕上げの工法は芝張にすると確定したため、堀の法面を守るために堀のみでなく、その周辺もある程度張芝とする。

(質疑応答)

- ・南外堀の南側の天端が削られるのではないかという指摘があったが、フジヤマから、天端部分は盛り土であり、削ることに問題はないと回答があった。

<結論>

- ・大手曲輪堀の設計について承認する。

●島田市保存活用地域計画について

- ・文化財保存活用地域計画を策定していく。
- ・目次は国からの指示に従って設定する。
- ・特徴としては、大井川流域の歴史の流れと、東海道の二本を主軸として文章を作成していく。
- ・未指定文化財と大井川流域の歴史文化事業の洗い出しを行っている。
- ・島田市の歴史文化の特徴を基軸として、認定された事業への補助金が活用される。
- ・島田市保存活用地域計画の策定後に諏訪原城の個別の保存活用計画を策定する。

(質疑応答)

- ・委員から、島田市保存活用地域計画の担当部署の職員内で情報共有や意見交換はできているのかという質問があったため、事務局から、現在章毎に各担当が文書を作成しており、月に一度は情報共有を行っているという回答した。
- ・委員から、計画内容は他市の保存活用地域計画と同じでも、地域の独自性を持たせ、どの話題から切り込んでいくのかが大切であると助言をいただいた。
- ・委員から、島田市の伝統文化の記載はあるのかという質問があったので、事務局から記載はあると回答した。
- ・委員から、智満寺のような仏教文化的な要素の記載もあるのかという質問があったので、事務局から記載はあると回答した。
- ・委員から、資料編として、発掘調査報告書リストがあるが、あくまでリストだけで、詳細の記載はないのかという質問があったため、事務局から、備考欄に特徴を記載していくと回答した。

	<p>< 決議 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 島田市保存活用地域計画の目次について承認する。 ● その他追加情報 <ul style="list-style-type: none"> ・ JR東海が、5市2町にある徳川家康ゆかりの地を紹介する列車を運行する。期間は3月下旬からひと月程度。島田市としては諏訪原城跡を紹介してもらう予定。
会議を所管する課の名称	島田市観光文化部博物館課
その他必要な事項	